奥田雄一　概略情報

１．専門分野表記：「物性物理学（実験）」「低温物理」「量子固体・超流動」
２．理研での研究テーマ：極低温における量子固体（4He）・量子液体（超流動 3He）の研究
３．経歴

年	月	大 学 以 降 の 学 歴
昭和　48 年	3	京都大学理学部物理卒
昭和　50 年	3	大阪大学大学院基礎工学研究科物性物理修士課程修了
昭和　53 年	3	大阪大学大学院基礎工学研究科物性物理博士課程修了
年	月	職　　歴
昭和 56 年	10	東京大学物性研究所助手
昭和 63 年	6	東京工業大学理学部応用物理学科助教授
平成 10 年	6	東京工業大学大学院理工学研究科物性物理学専攻教授
平成 27 年	3	東京工業大学大学院理工学研究科定年退職
平成 27 年	6	国立研究開発法人　理化学研究所　嘱託職員
平成 28 年	4	公益財団法人　豊田理化学研究所　客員フェロー

1984年9月1日	～1986年8月31日	日本物理会誌編集委員	日本物理学会
1986年	～1987年	LT18組織委員	
1987年9月1日	～1992年8月31日	JJAP編集委員	応用物理学会
1990年4月1日	～1997年3月31日	企画委員会委員	低温工学・超電導学会
1993年10月1日	～1994年3月31日	非常勤講師「低温と音波」	一橋大学商学部
1993年	～1994年	Visiting professor	Rutgers University
1995年4月1日	～1996年3月31日	専門委員	日本学術振興会
1995年	～1997年	客員研究官 科学技術庁金属材料技術研究所	
1995年10月1日	～1994年3月31日	非常勤講師「量子流体の世界」 大阪大学大学院基礎工学研究科	
1996年10月1日	～1994年3月31日	非常勤講師 「超音波でさぐる量子流体」 京都大学大学院物理学専攻	
1998年	～2000年	特定領域研究Ｂ「低次元ヘリウム３の新物性」 領域代表	
2001年10月1日	～1994年3月31日	非常勤講師「量子流体の世界」 岡山理科大学理学部	
2001年	～2002年	LT22組織委員	
2001年9月1日	～2003年8月31日	理事（会計）	日本物理学会
2001年9月1日	～2002年8月31日	評議員	日本工学会
2004年10月1日	～1994年3月31日	非常勤講師 名古屋大学大学院理学研究科物理学専攻	
2006年9月1日	～2008年8月31日	理事	物理系欧文誌刊行委員会
2007年9月1日	～2009年8月31日	理事（刊行委員長）	日本物理学会
2007年9月1日	～2008年8月31日	領域６領域代表	日本物理学会
2007年4月1日	～2015年3月31日	専門委員 JAXA宇宙環境利用科学委員会	
2008年4月1日	～2008年9月31日	非常勤講師 大阪市立大学大学院理学研究科物理学専攻	
2009年8月	～	QFS steering committee 日本代表	
2011年4月1日	～2012年3月31日	客員教授（超低温部門）	東大物性研究所
2012年1月	～	QFS2016-Matsue 組織委員長	
2013年3月28日		日本物理学会論文賞	日本物理学会
2014年10月1日	～	Fritz London Memorial Award 選考委員	
2014年4月1日	～2013年3月31日	非常勤講師「超音波でさぐる量子流体」 京都大学大学院物理学専攻	